

皆さんお元気ですか。

2017年9月の出来事を綴っています。ご覧くださいませ。



9月19日、朝稽古の生徒たちが我が家にやってきた。私が帰国するのでお土産として、「Flor de Cana 18」と言うラム酒（サトウキビ酒）をくれた。私にはよく分からないけど、18は、年代もので結構するとのこと。一人いくら払ったのかな。彼らにはあまり余裕がないはずなのに。今日の朝稽古では、Normanが杖形を指導したとのこと。Normanは今まであまり稽古に来なかったが、私がいなくなるので、後は引き受けたと言った。また、ニカラグアで問題になっている道場間の仲も良くしていきたいと言った。どこまで信じていいのやら？ あとの二人は非常に熱心でいつも朝稽古に来た。夜のクラスにも参加してくれるといいんだけど、仕事の都合だから仕方がないか。組杖の1から5までは教えたので、これをマスターして欲しい。そして、いつか続きの杖6から10までを教える機会があればいいなあ。それまで、ズーッと続けてくれることを願っている。



9月19日、JICAからビデオメッセージを制作したいので、協力して欲しいと言う依頼があった。それで、午前11時ごろ道場に行って、大先生の写真の前で、スペイン語でつぎのように言った。「Aiki es el amor. Ame a su companero. Ame a gente por todo el mundo a traves de Aikido」(合気は愛なり。仲間を愛し、合気道を通して、世界の人々を愛しなさい。)私のスペイン語では相手にも通じないと思って、紙にも書いて前に置いた。私自身、アモール(愛する)と言うとチョッと照れくさいのだけど、この国はカトリック教徒が多いから、返って受けるかなあと思っている。この国は、ボクシングが国技のようで、国民は好戦的だ。だから、合気道も武道だから相手を殺す技を学んでいると思っている。しかし、大先生の想いは「万有愛護」であり、世界平和である。私も大先生の想いを、合気道を通して伝えていきたい。合気道が、ニカラグアと日本のそして全世界への架け橋となればいいなあと思っている。



9月21日、午前11時から2015年度2次隊の離任式が行われた。9名の隊員とその配属先の関係者が集まった。JICA 所長や配属先の代表者が挨拶し、また隊員の代表者も活動内容や感謝の言葉を述べた。私の配属先（合気即生活）の道場長、Anibal 先生も他の配属先同僚と同様にお礼の言葉をのべた。しかし、彼のスピーチは、スペイン語なので、私はよく理解できなかった。それで、同席した当道場の Gloria さんが英語で説明してくれてよく分かった。彼は、今までは合気道の技については理解していたが、私の授業で大先生の哲学も理解できるようになった、と述べた。これを聞いてうれしかった。私は、稽古中いつも英語でしか説明しなかった。それで、スペイン語しか分からない人は、私の説明を理解してくれたか、といつも不安だった。また、Anibal 先生は、まじめであるが、積極的に私の方に話かけることは余りしなかった。よって時々彼は何を考えているのかと、疑うときもあった。しかし、彼の挨拶の内容がわかり、安心した。



9月21日、午後1時半から、最終報告会が行われた。これは、我々隊員（2015年度2次隊）の2年間の最終活動報告をする発表会だ。私の配属先の概要、要請内容、問題点、解決、結果、今後、そして、現隊員へのメッセージという項目で説明した。特に道場を移転するまでの過程で、施設利用許可、畳購入など苦労したことを述べた。また、生活面ではニカラグア人に対する期待と絶望、孤独と言葉の不自由によるストレスを感じた。しかし、最終的にはニカラグアが好きになったと説明した。最後は、「Viva Nicaragua」で終わった。聞いていてくれた隊員の皆も何か思い当たることがあるのか、頭を立てに振りながら拍手してくれていた。報告会の後は、新隊員と我々との歓送迎会があった。そして、翌日はニカラグア外務省、日本大使館への表敬訪問をした。これで、すべてが終わった。JICA 事務所に預けてあった公用パスポートを返却してもらった。このとき、これで日本に帰れるという実感が湧き出た。JICA 事務所から我が家まで歩いて帰った。途中で、道場のあるニカラグア日本友好公園前で最後の写真を撮った。ここにまた来る日はあるのかなあ。

